

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-229045

(P2000-229045A)

(43)公開日 平成12年8月22日(2000.8.22)

(51)Int.Cl.

A 4 7 K 7/00

識別記号

1 0 5

F I

A 4 7 K 7/00

テームト\* (参考)

1 0 5 2 D 0 3 4

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 2 頁)

(21)出願番号

特願平11-70690

(22)出願日

平成11年2月9日(1999.2.9)

(71)出願人 599035487

庄司 直嗣

千葉県安房郡千倉町川合380番地

(72)発明者 庄司 直嗣

千葉県安房郡千倉町川合380番地

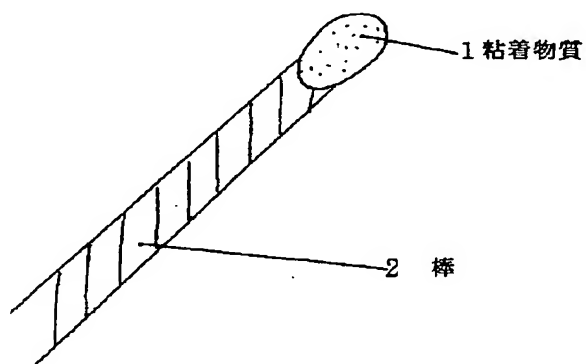
Fターム(参考) 2D034 BA02

(54)【発明の名称】 粘着式耳垢取り

(57)【要約】

【課題】 この発明は、棒の先端に粘着物質をつけた耳垢取りである。

【解決手段】 棒(1)に粘着物質(2)をつけた耳垢取りである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 棒の先端に粘着物質をつけた粘着式耳垢取り。

## 【発明の詳細な説明】

この発明は棒の先端に粘着物質をつけた耳垢取りである。従来の耳垢取りはへら状のもので耳垢をかきだすもの又は、棒の先端に綿をとり付けたものにて耳垢を拭き取るものであった。しかしながら、使用している本人が耳の内部の状況を見ることが出来ない為、この様な方法では確実に耳垢を取り去ることが出来ないばかりか耳の内部の表面を傷つけることもあった。本発明はこの様な欠点を簡単な方法で解決することができ尚かつ安全に耳\*

\*垢を取り去ることができるものである。以下その構造を説明する。

イ) 棒の先端に粘着物質をつける。このような先端に粘着物質をつけた棒を耳に挿入し回転させながら粘着物質に耳垢を接着することにより耳垢は確実に取り去ることが出来る。更に耳の内部の表面に無用な力を加える必要が無い為、傷つけることも無く極めて安全である。

## 【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明粘着式耳垢取りの斜視図

## 【符号の説明】

1は棒 2は粘着物質

【図 1】

